

住民意見募集（パブリックコメント）の結果

上富良野町観光振興計画（素案）について、パブリックコメントを実施したところ、次のとおりご意見をいただきましたので、町の考え方など概要についてお知らせします。

- 1 意見募集 上富良野町観光振興計画（素案）
- 2 募集期間 平成24年10月25日～11月25日
- 3 提出件数 4名 16件
- 4 ご意見に対する町の考え方

【ご意見①】

花と炎の四季彩祭りについて、花の手入れは、実施した方が良い。

【町の考え方①】

観光振興計画の目標達成のための4つの取り組みの一つとして、「観光客に満足してもらうための観光関連施設・観光スポット等の整備」を位置付けており、本町の花観光の主であります日の出公園ラベンダー園、深山峠ラベンダー園、十勝岳ラベンダーロードの再整備を計画期間の前期（平成25年度～平成27年度）に計画し実施していく考えです。町花ラベンダーの花畑を適正に維持管理して、来訪される観光客の皆様に対して、町民皆様でおもてなしいただくよう計画を推進していく考えです。

【ご意見②】

- 1 町外の人、海外の人との交流。「のぼり、場所を指定して交流」できる場所を作ろう。地元の人と交流したい人がいます。上記を作れば交流しやすくなります。海外観光客の人には、通訳器材を設置するとグループ会話ができ言葉の壁が減少されます。人材は観光案内の人、希望者を配置しておけば尚よいかと思えます。町外の観光客の人には、県人会、スポーツクラブの人に協力をお願いすると共通話題があると思うことで交流が生まれるのでは。
上記の事は、人がその地域の財産と考えるからです。道外の人には「北の国から」の五郎さんのイメージがあり、似た人がいたと弾む言葉で話していたことも思い出しますし、また観光客とお話しした後で地元の人と話が出来て良かったとの感想も聞きました。
- 2 オートキャンプ場について、キャンプ場でも、キャンプをしている中で交流を持ちたい人もいます。「交流の広場」を設置すると交流をしたいと思う人が集まり、楽しかったらピーターが期待できます。旅行中の楽しい思い出は、交流にもあるとの考えからです。
- 3 以上をもとに成果を確認し、いろんな方向に広め拡大発展をすればよいかと思えます。

【町の考え方②】

町民を対象としたアンケート結果において、町民が地域の観光関連施設やスポット等を十分理解しておらず、また、観光客を快く受け入れる機運が浸透していないことなどから、

観光客から地域観光について尋ねられても十分な対応ができていない可能性があることが明らかになりました。この結果を踏まえて、観光振興計画の目標達成のための4つの取り組みの一つとして、「町全体で観光客を快く受入れをおもてなすことができる意識の醸成」を位置付けており、町民皆様が観光客からの対話で多くの観光資源を理解して説明できることや、観光に従事する人のみならず、町全体が観光客に温かいおもてなしができることを到達目標としています。

意見いただきました場所を指定しての交流につきましては、現在の観光客ニーズは既存の観光地巡りのみならず、地域の人だけが知る穴場的なスポットや、地域の人と関わりを観光の思い出としており、リピーターにも繋がる重要なことでもありますので、町民を対象とした地元再発見ツアーや観光人材育成プロジェクトなど、町民の皆様との協働による観光ワーキングプロジェクトで取り組んで参りたいと考えております。

【ご意見③】

「かみふらの物語 ～ 五感で感じる上質の癒し空間へようこそ」のテーマに添うには、その場所に特産品も添えれば尚よいかと思えます。

【町の考え方③】

町民を対象としたアンケート結果において、地域のシンボルとなる特産品が乏しい課題が明らかになりました。この結果を踏まえて、観光振興計画基本コンセプト「あなたと創りたい かみふらの物語 ～五感で感じる上質の癒し空間へようこそ～」の5つの癒しによる展開として、“食べて癒される！”地域内の食資源を活かしたメニューの効果的な提供、シンボリックな特産品の開発などを特産品開発ワーキングプロジェクトで実施していく考えです。

上富良野町の地場食材を使用した特産品のご当地メニュー（現在は、商工会の“ポーク&ビーンズカレー”とかみふらの十勝岳観光旅館協会の“かみふらの豊味豚カレー”があります。）をさらに町民が愛するメニューに発展させることにより、観光客入込増や観光消費額の増、地元飲食店での交流などに繋がっていくことを期待しております。

【ご意見④】

上富良野には、「人材」、ゆっくりした時間(こせこせしていない)、十勝岳を望む雄大な自然が売りになると思うので、これを生かせるが課題です。

【町の考え方④】

上富良野町は、北海道の屋根である大雪山国立公園の十勝岳連峰を眺望できる雄大な山岳風景と基幹産業の農業が織りなす田園風景の景観を観光資源とする観光のまちであります。町民を対象としたアンケート結果においても、観光客に対するお勧めスポットで十勝岳と答える方が多数を占めております。

観光振興計画の5つの癒しによる展開として、“見て癒される！かみふらの景観づくり条例を遵守しつつ、十勝岳や丘陵のほか、美術品、青空や夜空、森林などを効果的に活かした観光資源の発見（再評価）・磨き上げ・観光プログラムとしての展開をグリーンツーリズムやアウトドアなどのニューツーリズムワーキングにおいてプログラム化を目指す考えです。

【ご意見⑤】

7ページの主な観光資源について、記載願います。

- ① 自然景観の欄の「深山峠ラベンダーオーナー園」の住所を「深山峠」と記載。
- ② 温泉・宿泊の欄の「ウッディ・ライフ」の住所を「深山峠」と記載。
- ③ 歴史・文化・伝統の欄の「ウッディライフ」を「風の丘 アートステージピラミッド(貝殻アート美術館・博物館・写真館)」と記載。
- ④ イベント・まつりの欄に「春のとんとんまつり(花ミニフェスタ)5月、秋のとんとんまつり(農作物の収穫祭・還元祭)9月、場所 深山アートパーク」と記載。(理由:北海道庁や各マスコミのイベントコーナーにも記載され、実績として、13年間休まず開催しています。行政が関係しているイベントしか記載できないならば、致し方ありません。振興会としては疑問が残ります。)
- ⑤ 体験の欄の「ウッディ・ライフ」の住所を深山峠と記載。
- ⑥ 食べるの欄の「ウッディ・ライフ」の住所を深山峠と記載。(理由:上川支局長より平成19年1月25日付けで、北のめぐみ愛食レストランとして、認定番号 上18-5 北のめぐみ 愛食 ペンションとして 認定番号 上18-6 で認定書を受領しています。上富良野町の誇れることではないのですか。上富良野町の役場は冷たいですね。上川支局長より認定され北海道新聞にも記載されたにも関わらず一言もお祝いの言葉がありませんでした。追記:これからは観光振興計画など策定するときは、そのお店が、他の行政より認められたときは、町の誇りではないでしょうか。かみふらの物語としてではありませんが、2002年 10年前に香港のトップスター(男性・女性)のLove Story がウッディ・ライフを舞台に撮影されました。10年経った今でも沢山のファンが来られます。今は時間がないので、物語を書くことはできませんが、お待ち下さいね。

【町の考え方⑤】

①②⑤⑥の住所:西9線北34号を深山峠と記載してのご意見につきましては、深山峠地区が観光面において、十勝岳連峰の町望スポットや深山峠ラベンダー園の所在地、かみふらの八景として位置付けておりますので、追記させていただきます。

③の施設名称について、誤植であり修正させていただきます。

④のイベントについて、かみふらの四季彩まつり実行委員会が運営しているイベントのみの記載でありましたが、国道237号線沿いで地域の方が長年継続されているイベントであり、観光客も来訪するイベントでありますので追記させていただきます。

【ご意見⑥】

追伸:上富良野町では沢山の映画・テレビドラマが撮影されることは我が町には素晴らしいロケーションが在るのでしょうか。過去のテレビドラマ・映画などの撮影地・俳優・タイトルなど記載して、其の場所観光のスポットに入れて頂きたいですね。マップにも記載すれば、上富良野に沢山の人が来ますよ。詳細は後日。

【町の考え方⑥】

観光振興計画の目標達成のための4つの取り組みとして、「町全体で観光客を快く受入れおもてなすことができる意識の醸成」と「かみふらの物語の素材となる観光資源の発見(再評価)・磨き上げ・観光プログラムとしての提供」を位置付けており、町民参加による地域の観光資源発掘プロジェクトや戦略的短時間周遊プログラムの構築プロジェクトなどで取り組みたいと考えております。

【ご意見⑦】

今、示されている観光振興計画は、総論的なものが多く、すぐ取りくまなければならない順番を示した具体的なものが見えてこない。前期の計画が完成してからというのではおそすぎる。私は緊急度の高いものとして提案します。

① 十勝岳～三峰山～富良野岳の登山口は、上富良野側が初心者向けでもあるし、高山植物も多く美しい。

また、冬の上富良野スキーは昔から三段スロープとして有名であり、雪質も上々である。その上、良質の温泉宿泊にも恵まれている。この観光資源を生かしていくことが、将来的にもとても大事なことと思う。それで、夏山登山で多くの人を訪れる7月と8月だけでも、JR上富良野駅前発7時50分頃の町営バスを走らせてほしい。最初の年は、乗客が少ないと思うが、乗用車以外で訪れる登山客も年々増加に転じていくと思う。

【町の考え方⑦】

JR富良野線と十勝岳線バスを利用する十勝岳温泉郷への観光客からも接続の解消についてご意見いただいているところであります町営バス十勝岳線は、小学生・中学生の通学バスとの混乗路線でありますことから、朝一便のJR上富良野駅前発7時5分の便は山加停留所までの往復となっている現状でありますので、ご理解いただきたいと思っております。

今後、町といたしましては、教育委員会や地域の皆様が通学方法改善の検討機会がありましたら、代替え措置等の協議をして参りたいと考えております。

【ご意見⑧】

フットパスや山ガールなど、最近若い人にも増加傾向がある。これに伴いエコツーリズムや美瑛～富良野圏までも含めた広域にわたって案内できる、観光ガイド養成の必要性が感じられる。自然にふれて楽しみ、学ぶ観光は今後、益々、増えていくものと信ずる。十勝岳一帯の火山を中心にすえたジオパーク構想も進めてみてほしい。

【町の考え方⑧】

上富良野町は、大雪山国立公園十勝岳連峰の豊かな自然環境や温泉、ラベンダーを中心とした花観光など、全国有数の観光地である富良野・美瑛広域エリアの一つとして発展しており、とりわけ、十勝岳連峰には、年間を通じて多くの観光客や登山者が訪れており、近年の中高年や山ガールを中心とした登山ブームを背景に6月から9月のシーズン中には、十勝岳や三段山、富良野岳などを中心に多くの登山者が来訪・宿泊しております。

地元上富良野町としても登山ニーズの多様化とともに、毎年、登山道整備などを行い、大雪山特有の貴重な自然環境への影響にも配慮しながら、自然環境の保全はもとより、訪れる登山者や観光客に素晴らしい自然環境を提供しているところであります。

山岳事故が少なくはない昨今、十勝岳を抱える上富良野町といたしましても、利用者に安全で良質なサービスを提供するアウトドアガイドの必要性を認識しております。

北海道において、平成14年度から安全で質の高いサービスを提供するアウトドアガイドと事業者の育成を目的として、全国に先駆けて北海道アウトドア資格制度を導入しアウトドアの5分野（山岳、自然、カヌー、ラフティング、トレイルライディング）で、北海道認定の個人ガイド試験と優良事業者の登録を実施しておりますので、町としては北海道が登録する「北海道アウトドア資格制度（山岳、自然のみの分野）」の試験に要する経費を助成して、知識・技術が一定水準に達しているガイドを養成していきたくと考えております。

この資格をより多くの町民の皆様が取得して、質の高いサービスを提供することができる北海道認定のアウトドアガイドとして十勝岳連峰や恵まれた自然をおもてなしすることで、アウトドア活動の安全性と質の向上が図られることを期待します。

【ご意見⑨】

上富良野は「ラベンダーの里」であり、ラベンダーを見にくる観光客は、今でもまだ多い。

しかし、ラベンダーロード(北海道の路100選)はスギナが蔓り、ラベンダーが見苦しい状態であるし、日の出公園のラベンダー園は、土壌の流出で痛々しい。ラベンダーロードは土質の改良が必要だし、日の出公園ラベンダー園は「等高線耕作」(本州方面でみられる棚田やだんだん畑のような草地を組み込んだ)のようなものにしていく必要がある。

また、草花だけでなく、木かげになる樹木も効果的に取り入れた花壇づくりを望みます。春から秋まで球根や宿根草で年中通して花のある日の出公園をつくって下さい。

【町の考え方⑨】

観光振興計画の目標達成のための4つの取り組みの一つとして、「観光客に満足してもらうための観光関連施設・観光スポット等の整備」を位置付けており、本町の花観光の主であります日の出公園ラベンダー園、深山峠ラベンダー園、十勝岳ラベンダーロードの再整備を計画期間の前期(平成25年度～平成27年度)に計画し実施していく考えです。町花ラベンダーの花畑を適正に維持管理して、来訪されます観光客の皆様に対して、町民皆様でおもてなしいただくよう計画を推進していく考えです。

【ご意見⑩】

10月26日の説明会について、素案の冊子を読みあげただけで、何の説明会だったのか不明でした。集まった人の中には、寝ていた人もいて、人数集めだけで来ていたのかと思ってしまいました。

会場を使ってするだけの内容はなく、全町民に素案を配布した方がよっぽどよかったのではないのでしょうか。

【町の考え方⑩】

10月26日に保健福祉総合センターかみんで開催しました「上富良野町観光振興計画(素案)説明会」におきまして、説明が理解不明でありまたことにつきまして、深くお詫び申し上げます。

町が計画や条例などを策定するときは、案の段階で町民の皆さんに公表し、その案に対するご意見やご要望などを募集し、寄せられたご意見等を考慮しながら意思決定するとともに、ご意見等に対する町の考え方も合わせて公表していく一連の手続である「上富良野町パブリック・コメント手続要綱」に基づき、町民皆様に対して説明会を開催させていただいた経過であります。

これまでの計画等は、広報かみふらの、行政ホームページ、町民ポストへの据置による方法により周知する方法がほとんどでありましたが、観光振興計画については、観光産業の活性化がまちの活性化に繋がることから、より多くの町民の皆様からご意見をいただきたく、計画素案の説明会を開催したところでありますので、ご理解いただきたいと思っております。

【ご意見⑪】

素案の中で、観光が活性化すると住民が活性するとあるが、住民が活性化にならないと、誰も観光に目はおかないと思う。

【町の考え方⑪】

観光産業は経済関連の裾野が広く、観光客を受け入れる観光事業者はもちろんのこと、宿泊業者や農業者、加工業者、飲食店、土産品等小売店、交通事業者などの様々な町内産業が関わっております。

今回策定する観光振興計画を着実に推進することにより、低迷する観光入込客数を増加させ町内での消費を増やすことで、大きな町内経済波及効果を生み出して本町観光が経済的に活性化することにより、さらに町内の事業者や町民が観光客へ親切な対応や町の魅力の再認識と郷土を誇れる気持ちの醸成が図られて、町民の皆様も活性化していただけるよう考えております。

【ご意見⑫】

計画期間について、6年後が最終目標で3年後の数値目標設定とあるが、3年後というより、毎年、毎年、日々の目標設定をして、それにおいて頑ばるべきだと思う。

【町の考え方⑫】

本観光振興計画は第5次上富良野町総合計画（平成21年度～平成30年度）の基本理念を原則としていることから、平成30年度までの6年間で計画期間として策定しています。

町が策定する計画の多くは最終目標値を定めて進行管理をしているものが多いのですが、観光開発審議会での意見から最終年度まで計画の評価をしないことは、観光動態の変動などに対処できないことから、中途段階の3年後にも数値目標を設定することとしています。

毎年毎年頑張るべきのご意見のとおり、3年後、6年後まで目標達成までの成果評価をしないのではなく、行動計画に基づき毎年度進行管理をしております。また、本町では、健全な財政基盤を維持しつつ、「協働」を町民共有のキーワードとしたまちづくりを進めていくため、効率的、効果的な行政運営に向け、その仕組みを絶えず見直し改善していく具体的な実践プランとして、「上富良野町 町政運営改善プラン」を位置づけておりますので、その改善プランにおいても着実な実践に努めてまいりたいと考えております。

【ご意見⑬】

上富良野は、他の町と同じように閉めてあるお店が多くなりました。夜は、特に暗く、土曜、日曜になると人通りがありません。シャッターが閉まっているなら、シャッターの色だけでも明るい色や絵を描くことはできないでしょうか。

【町の考え方⑬】

上富良野町商工会の会員数の状況は、平成24年4月1日現在で297会員、平成14年度353会員（▲56）、平成5年度404会員（▲107）と、この20年間で107会員（▲26.5%）も減少しております。町内消費を支える総人口の減少や少子高齢化の進展に伴う消費世代の減少及び消費者ニーズの動向（旭川に約4割、富良野に約2割）による町外流出により、ご意見のとおり休日の町民動向は家族の娯楽を含めた町外への外出は否めません。

観光振興の一翼を担っている商工業者の振興につきましては、前述のとおり、本観光振興計画を着実に推進して、観光入込客数と観光消費額を増加させて活性化すること及び町全体で観光客を快くおもてなしすることができる意識を商工業者としても醸成していただき、商工業活性化を推進していただきたいと考えております。

【ご意見⑭】

ガイドマップは、“ラベンダー発祥の地 かみふらの”というもののしか、今まで見たことがないけれど、他にあったら申し訳ありません。

これ1枚に、あれやこれやとつめこんで、よくわかりません。TVで、旭川の地図作成会社がとりあげられていました。3Dのような立体的で面白い地図でこのような地図で、観光マップを作成されたりしてはいかがでしょう。

観光場所のみ、食事する所のみ、宿泊場所のみとわけてのマップも作成してみても。地図をみて、もっと他のお店やいろいろな写真家の人達がいると思ったのですが、なぜでしょう。地図にのっていない、紹介されていない上富良野の案内マップであれば、全てをのせてのマップだと思います。

【町の考え方⑭】

本観光振興計画策定にあたりアンケート調査を行った結果、観光情報の発信が不十分、観光が繋がりのある展開になっていないなどの情報発信体制や方法の弱みが明らかになっております。また、観光情報等を全般的に掲載した観光パンフレットでありますので、今後は観光テーマに応じたモデルコースなど、具体的に町内を周遊がイメージできるよう随時改善を図っていきたいと考えております。

【ご意見⑮】

ラベンダーについて、発祥の地と書いてあるわりには、ラベンダーがあまり目だっていない。日の出のラベンダーは、頑ばって紫にするなら紫の山になるように頑ばる。

前に、映画のために切って、そのメリットはあったのでしょうか。役場に、ラベンダー課をつくるとか、全体的に観光班ではなくて、ひとつのことをやる課をつくってはいかがでしょう。

【町の考え方⑮】

ラベンダーを主とする花観光をメインにしている本町といたしまして、本町の観光地のメインであります日の出公園ラベンダー園の維持管理を適正に努めてまいります。

また、観光専門部署設置の組織機構の見直しのご意見につきましては、参考意見とさせていただきますので、ご理解願いたいと思います。

【ご意見⑯】

住民にアンケートをとったりして、頑ばっているとは思いますが、1戸、1戸、住民宅を回っていろいろ話しを聞いてみてはいかがでしょう。

【町の考え方⑯】

本観光振興計画策定が5月から12月までと短期間でありましたので、住民基本台帳からの無作為抽出600人という形を取らせていただいたことに対しまして、ご理解を願いたいと思います。

また、町民との意見交換につきましては、観光振興計画を推進する行動計画において、観光関連等の皆様や町民の皆様と協働して観光ワーキングを取り組んで参りますので、その中で更に町民の皆様からご意見をいただきたいと思っております。